

マสบクシング講習会

令和4年7月3日 於 関西大学

- ① マสบクシング大会とは、非コンタクトボクシングであり、打撃を与えない。
 - ・ 出場年齢は、小学1年生から80歳代の男女、健康体であればどなたでも参加できる。
 - ・ 日本連盟にマสบクシング選手登録をする。マสบクシング用選手手帳を入手。
 - ・ 実戦競技のような総合健診の必要は無い。
 - ・ 大会当日は、検温、検脈、血圧測定のみ。コンタクトレンズ装着の有無も手帳に記入。

- ② 服装は、実戦競技と同じ。
 - ・ UJの心振盪パッド、カッププロテクターは不要。
 - ・ 上半身は、ランニング、ノースリーブ、半袖Tシャツ、下半身は、膝上のトランクス、スコートを着用する。
 - ・ 赤コーナーから青色の衣服、青コーナーから赤色の衣服は着用しない。

- ③ 階級（年齢、当てないので体重ではなく、リーチに関する身長で区分）
 - (1) ゴールドキッズ
 - 小学校低学年男子 125cm まで
 - 小学生低学年女子 125cm まで
 - 小学校低学年男子 125cm 超
 - 小学校低学年女子 125cm 超
 - 小学校高学年男子 140cm まで
 - 小学校高学年女子 140cm まで
 - 小学校高学年男子 140cm 超
 - 小学校高学年女子 140cm 超

 - (2) ジュニア
 - 中学男子 155cm まで
 - 中学女子 155cm まで
 - 中学男子 155cm 超
 - 中学女子 155cm 超

 - (3) ユース
 - 高校男子 165cm まで
 - 高校女子 165cm まで
 - 高校男子 165cm 超
 - 高校女子 165cm 超

 - (4) エリートビギナー（18歳～45歳）
 - エリート男子 165cm まで
 - エリート女子 165cm まで
 - エリート男子 165cm 超
 - エリート女子 165cm 超

 - (5) エリートアドバンス（18歳～45歳）実戦競技全国大会出場経験者
 - エリート男子 165cm まで
 - エリート女子 165cm まで
 - エリート男子 165cm 超
 - エリート女子 165cm 超

(6) シニアビギナー (46歳～70歳)

- U-60 (46歳～60歳) 男子 165cm まで
- U-60 (46歳～60歳) 女子 165cm まで
- U-60 (46歳～60歳) 男子 165cm 超
- U-60 (46歳～60歳) 女子 165cm 超
- U-70 (61歳～70歳) 男子 165cm まで
- U-70 (61歳～70歳) 女子 165cm まで
- U-70 (61歳～70歳) 男子 165cm 超
- U-70 (61歳～70歳) 女子 165cm 超

(7) シニアアドバンス (46歳～70歳) 実戦競技全国大会出場経験者

- U-60 (46歳～60歳) 男子 165cm まで
- U-60 (46歳～60歳) 女子 165cm まで
- U-60 (46歳～60歳) 男子 165cm 超
- U-60 (46歳～60歳) 女子 165cm 超
- U-70 (61歳～70歳) 男子 165cm まで
- U-70 (61歳～70歳) 女子 165cm まで
- U-70 (61歳～70歳) 男子 165cm 超
- U-70 (61歳～70歳) 女子 165cm 超

(8) シルバーエイジ (71歳以上)

- シルバーエイジ男子 165cm まで
- シルバーエイジ女子 165cm まで
- シルバーエイジ男子 165cm 超
- シルバーエイジ女子 165cm 超

④ 競技は1分30秒1R。決勝、3位決定戦は1分30秒2R。

⑤ セカンドは、日連セカンド資格A、B、C級保持者。

- ・セカンドワッペンを必ず付ける。
- ・エリート、シニア、シルバーエイジに出場する選手についてはセカンド不在可。

⑥ 各都道府県より各階級代表選手1名が、9月25日26日、青森県青森中央学院大学にて行なわれる第2回全日本マスポクシング選手権大会に出場する。

(参加が多ければ7月に選考会予定)

⑦ 採点基準

- ・10ポイントマストシステム
- ・3名か1名のジャッジがリングサイドより採点。ジャッジは各ラウンドの終了後、優勢な選手に10点、劣勢な選手に9～8点の得点を与える(必ず優劣をつける)
- (例) 10-9: 接近したラウンド
10-8: 優勢に進め勝者がはっきりわかるラウンド
- ・ジャッジの判断条件
 - (1) 正しい打撃動作に対し、相手が防御動作出来ていない場合、反応動作が遅い場合 当たったと想定される数。
 - (2) 技術、戦術が優れている。
 - (3) 積極性。
- ・ターゲットエリアへの打撃は反則。相手に打撃を与えた場合、
 - 1回目1点減点
 - 2回目1点減点
 - 3回目失格

⑧ 競技中の注意点

- ×技術を伴わない前進（攻撃せずに前進する）
- ×故意に打撃を受けに行く
- ×勢いよく同じ動作のみで前進（戦略的な組み立てを）
- ×故意に強い打撃を繰り返す
- △距離は離れているが攻撃していない（手数なし）
- △競技中に距離が近くなってしまう（レフェリーの注意を聞くこと）
- お互いに打撃が当たらない距離
- 攻撃に対しての防御動作
- 距離は離れているが攻撃している（手数あり）※止まったの打撃は評価されない
- 前の手のグローブが触れる程度の距離
- 攻防の確認が出来る位置で競技する